

The Principal Report

校長通信 (3月号)

March / 19th / 2026 / VOL 044

令和7年度修了式 式辞「GRIT」

日毎に暖かくなり、花も咲き始め、だいぶ春らしくなってきました。3学期も今日で終わりを迎え、令和7年度が終わろうとしています。時間こそあつという間でしたが、16歳、17歳の1年間ほど濃密な時間はありません。何気ない日々を生きているようで、実際には、1日1日がいろんなことに溢れています。日々の生活の中での学びや経験が今の自分をつくり、さまざまな人との出会いが自分を強くしています。1年前の自分より、1か月前の自分より、昨日の自分よりも、今日の自分です。そして明日は、さらに良く、さらに強くなっていきます。1日として同じ日はなく、同じ自分はいません。今日ここにいる私たちは、1年前とは大きく異なります。表面的にも、内面的にも変化を経験し、成長して今この時を迎えています。

さあ、ここで大切なのは、どう変化したか、そしてどう成長できたかです。1年間を通し、いろんなことに挑戦したと思いますが、どれもがうまくいったとは限りません。思った通りにいかなかったこと、残念な結果で終わってしまったことも中にはあったかもしれません。「やりきれなかった」という思いを持っている人も少なからずいると思います。結果がイメージしていたことと異なる、思い描いた成果にならなかったことは、正直問題ではありません。自分の努力の仕方を変える、時間の使い方を工夫するなどして、自己修正していくことで、これから先の結果は変えることができます。ただし、その日常の努力をやり切れるかどうかが課題であって、高校生も私たち大人も関係なく、全ての人に共通している最も大切な力です。このやり切る力は「GRIT」と呼ばれ、近年、さまざまな分野で不可欠と言われており、学習やスポーツだけでなく、人間関係を形成する上でもとても大切な能力と言われています。御殿場西高校ではこれを卒業までに生徒が身につけなくてはならない力の一つとしています。

GRITとはGuts:度胸、Resilience:復元力、Initiative:自発性、Tenacity:執念の4つの言葉の頭文字で作られる言葉です。主に、情熱という要素と、粘り強さという要素の2つで成り立っており、どんな困難や失敗があったとしても、自分の目標を達成するために、最後まで諦めずにやり切る力を表します。GRITが強い人の特徴は、情熱を持っていること、努力を継続できること、成長していくために自分が変化していかななくてはならないという考え方を持っています。たとえ失敗したとしても、素早く立ち直り、自分の中で何が足りなかったのかを見つめ、修正し、チャレンジを続けていきます。逆に、GRITが弱い人は、うまくいかないことを、人のせいにして、周囲のせいにして、あるいは変化しないための言い訳をする傾向にあるといえます。人間関係においても、GRITの強い人は、自分と性格が異なる人、背景が異なる人を歓迎し、むしろその人との出会いを新たな自分の開拓へと繋げます。GRITの弱い人は、自分はこんなに頑張っているのにわかってこない、どうせ無理、向こうが悪いという他責的な考え方になる傾向を強く持っています。GRITの強さ次第で、どちらが1年間で成長していけるかは明確です。

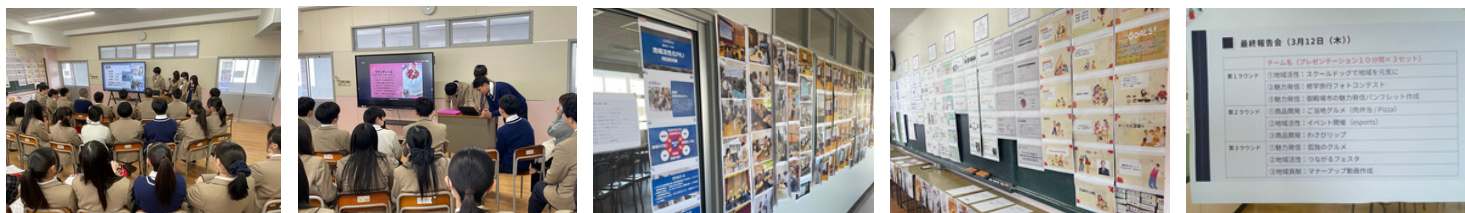
仮に今年、やりきれなかったという後悔があるのであれば、どうやったら修正できるのかをすぐに考えましょう。そして行動として実践しましょう。失敗しても構いません。失敗が自分を成長させ、失敗が自分を強くしてくれます。成功することと、失敗することは反対の関係でとらえられがちですが、成功の反対は失敗ではありません。成功の反対は「何もしないこと」です。何もしなければ、何も生まれません。何も生まれなければ、何も変わりません。うまくいこうが、失敗になろうが、まずやってみることです。たくさんの挑戦や失敗を繰り返して、1年後の今日、心の底からやり切ったと思えるように、1日を生きていきましょう。

この話をした後に思ったのは、GRITの強さは「自立」そのものだということです。GRITが強いと自立できるのか、自立するとGRITが高まっていくのか。さて、どちらでしょう。

探究学習（1・2年）最終報告会

1年間にわたる探究学習も最終報告会を迎えました。1年生は御殿場市長をはじめ、両副市長、市役所の関係者の方々をお迎えし、地域の魅力化に向けたアイデアをプレゼンしました。校外研修で見聞きしたことを踏まえ、さまざまな視点を取り入れることができたのではないかと思います。2年生の探究ゼミの最終報告会は14講座がそれぞれ工夫をこらしたプレゼンテーションを3セット×3ラウンド行い、1年間のゼミの活動をプレゼンしました。オープニングで音楽ゼミより「道」の合唱が披露された後、1・2年生が校内のブースを自由に回りながら、2年生の活動報告を興味深く聞いていました。中でも映画ゼミ、漫才ゼミのブースでは見学者で溢れ、とても盛況となりました。

探究学習は御殿場西高校の学びの柱の一つであり、知識伝達型の学びとは一線を画すものです。「問い」を持ち、その問いをさまざまな視点や角度から考察し、学校外の多くの方との協働を通して深め、まとめていきます。その過程で必要となるのは、偏差値では現れない、課題発見能力、創造力・批判的思考力・協働力・対話力・共感力といった非認知スキルというものです。来年はさらに中身の濃い探究学習を学校全体でダイナミックにやっていきましょう！



進学選抜 探究プロジェクト その2

3月10日（火）に行われたコース行事の日ですが、進学選抜では12月に引き続き未来の御殿場西高校の理想の校舎を描く探究プログラムを実施しました。3会場に分かれ、縦割りで構成された班ごとに、理想の図書室、中庭、校庭などについて考えました。今回は模型も作成し、各班で2分ずつのプレゼン大会を実施しました。模型のクオリティも高く、生徒も一人一人が主体的に活動しており、とても濃い学びの時間となりました。皆さんが考えたこうしたアイデアの一部が具現化され、学びが形としてこれからも学校に残っていけるように、僕も頑張ります！



離任される先生方

年間の学校行事の中で最も辛いもの、それは離任式。今年も7名の先生方が御殿場西高校を去ることとなりました。先生方との出会いは、たくさんの生徒、保護者、私たち教職員にとっての財産となりました。御殿場西高校も来年度で60周年を迎えますが、先生方の努力や支えがあったからこそ、この節目を迎えることができます。先生方のこれから先のご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

<今年度でご退職の先生方>

- ・小松 和馬 英語科 / ホッケー部
- ・安田 恭子 英語科
- ・田野 雅大 保健体育科 / サッカー部
- ・河上 菜々子 理科 / STEAM部
- ・山下 大征 英語科 / 男子バスケットボール部
- ・鈴木 若葉 国語科
- ・小畑 利晃 社会科

保護者の皆様へ

今年度、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。教職員を代表して心より御礼申し上げます。修了式の式辞の中でも述べさせていただきましたが、この1年という時間の中で、生徒たちは外見的にも内面的にも大きな成長を遂げています。その中で失敗や挫折も多かったと思いますが、それらとどう向き合ってきたのか、そしてこれからどう向き合っていくのがとても重要であると思います。引き続き、来年度も学校とご家庭が手を取り合い、一人一人の生徒を成長させられるチームとなっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

< 4月の行事予定 >

- 4月6日（月）1学期始業式 / 新任式
- 4月7日（火）第60回入学式

2026

APRIL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		